

SECURITY SHOW 2025 開催

セキュリティショーステージ
<パネルディスカッション形式>『闇バイト強盗事件と防犯優良住宅』

日本経済新聞社主催の第33回 セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW2025」が3月4日(火)から3月7日(金)まで、東京ビックサイト 東7ホールにて開催されました。

今回は、3月7日(金)の10時40分より、「闇バイト強盗事件と防犯優良住宅」と題して、防犯のプロフェッショナルである総合防犯設備士が犯罪対策の基本に立ち戻って安全安心な住環境の防犯優良住宅並びに総合防犯ソリューションについて分かりやすく解説しましたのでご紹介致します。

また、定員が100名に対して、定員を大きく上回る153名にご来場いただき、本セミナーへの関心度の高さが伺えました。

●概要

一連の強盗事件を受けて、未然防止対策を総合防犯設備士が考察しました。

最近の強盗事件では「匿名・流動型犯罪グループ」による闇バイト強盗事件が連日報ぜられ一般住民の体感治安の悪化の要因になっています。本セミナーでは、防犯のプロフェッショナルである総合防犯設備士が、犯罪対策の基本に立ち戻って安全安心な住環境の防犯優良住宅並びに総合防犯ソリューションについて分かりやすく解説しました。



SECURITY SHOW セミナーステージ

●セミナー登壇者

【パネリスト】

◆バスコム株式会社 総合防犯設備士 小林 道治 氏
◆ヒビキセキュリティ株式会社 総合防犯設備士 高尾 祐之 氏

【モデレーター】

◆株式会社ライコム 総合防犯設備士 齊藤 賀一 氏



セミナーの様子

「防犯相談コーナー」

協力：総合防犯士会(ASES)、公益社団法人日本防犯設備協会

日本経済新聞社主催による「防犯相談コーナー」を当協会および総合防犯士会により運営を行いました。今年度も、一部を除き防犯ガード等を無料配布しました。また、無料の「防犯相談コーナー」では、今年も近隣の地域協会から総合防犯設備士や防犯設備士の方々による1対1の相談を行いました。今回は、特に太陽光発電施設等でのケーブル盗難対策や個人宅での防犯対策としての防犯カメラ導入やドア・窓ガラスの強化・侵入対策についての相談が多く寄せられました。



防犯相談コーナー



防犯相談コーナー